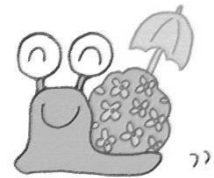


ほけんだより 東保育園 H29年度 6月号



湿度・温度ともに高くなり、天候も変わりやすい6月は体調を崩しやすい時期です。保護者の方と協力して、子ども達の体調の変化に気をつけていきたいと思えます。また、5月は熱の風邪や溶連菌にかかった子が多くいました。園内の感染症情報は、玄関の「ほけんからのお知らせ」掲示板に貼りだしていますので、ご覧ください。

熱中症・紫外線に気をつけよう

赤ちゃんや子どもは、大人より新陳代謝が活発で、体温も高い特徴があります。大人と比べて汗腺も未熟なため上手に体温の調節ができません。

また、背の低い子どもは地面からの照り返しや地熱で大人よりも気温の高い場所にいます。例えば気温が32℃のとき、地面から50cmの高さでは35℃、5cmの高さでは36℃以上になっています。

これらの理由より、子どもは大人よりも熱中症になりやすく、気を付けてあげる必要があります。



保育園での対策

- ①園庭・プールの上に遮光ネットを貼り、日陰を作っています。
- ②活動の切れ目や外遊びの途中での水分摂取を行っています。
- ③外に出る時は帽子を着用します。
- ④適宜、クーラーや扇風機の使用を行っています。



6月の検診予定

- 8日：眼科検診 10時半頃～
 - 23日：内科健診 14時半～
 - 29日：歯科検診 10時半頃～
- *時間は目安に貼ります。

耳鼻科・眼科検診は夏のプール・水遊びに参加するために必要な検診です。お休みされた子や治療を勧められた子は個別に受診して頂く必要があります。また、各検診で気になることがある方は医師にお伝えしますので、ノートでお知らせください。

保健からのほなし

- ・歯磨きの話と歯磨き強化週間2週間程度（すぎ組）
- ・トイレの使い方（まつ組） *日程は調整中です。

